

都市整備対策特別委員会行政調査報告から

【四日市市】

霞4号幹線整備事業（臨港道路）について

1 四日市港の概要及びアクセス、港勢

(1) 四日市港の概要

四日市港は中部圏における代表的な国際貿易港として、また、我が国有数の石油コンビナート等を擁するエネルギー供給基地として必要な役割を担っている。

さらに、昭和44年からはコンテナ貨物の取り扱いを開始し、コンテナ定期航路網は年々充実しつつある。

今後においては、多様化する物流需要に応えるため、また、物流合理化の進展に対応すべく、一層の港湾機能の拡充を進めていくこととしている。



(2) アクセス

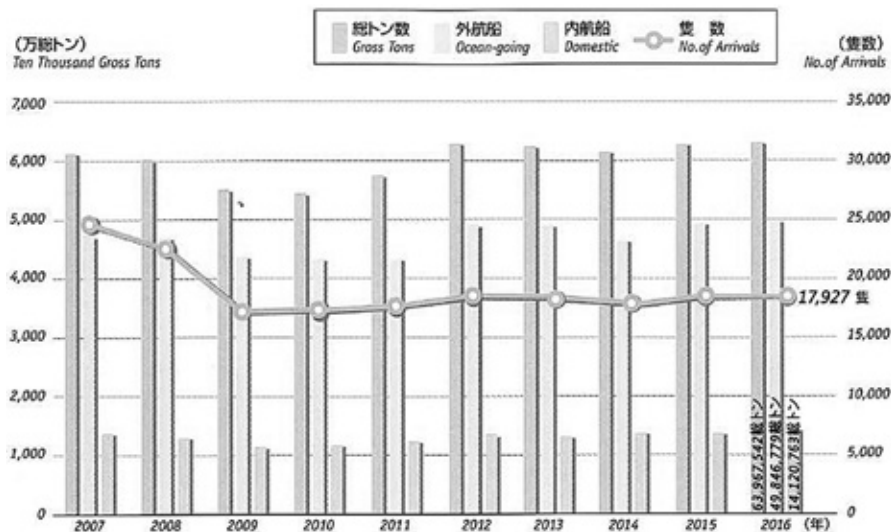
四日市港は日本列島の中央に位置し、中部、近畿、北陸の結節点に近接しており、岐阜県南部からは1～2時間、福井県南部からも高速道路を利用すると約2時間の距離にある。

平成20年2月には新名神高速道路（亀山ジャンクション～草津田上インターチェンジ間）が、23年3月には国道421号の石樽トンネルが開通し、滋賀県からのアクセスが向上した。

今後は、新名神高速道路及び東海環状自動車道西回りルート（いずれも未開通区間）などの高規格道路や北勢・中勢バイパスの整備をはじめ、国道365号のバイパスの拡張等により、四日市港へのアクセスはますます向上する。

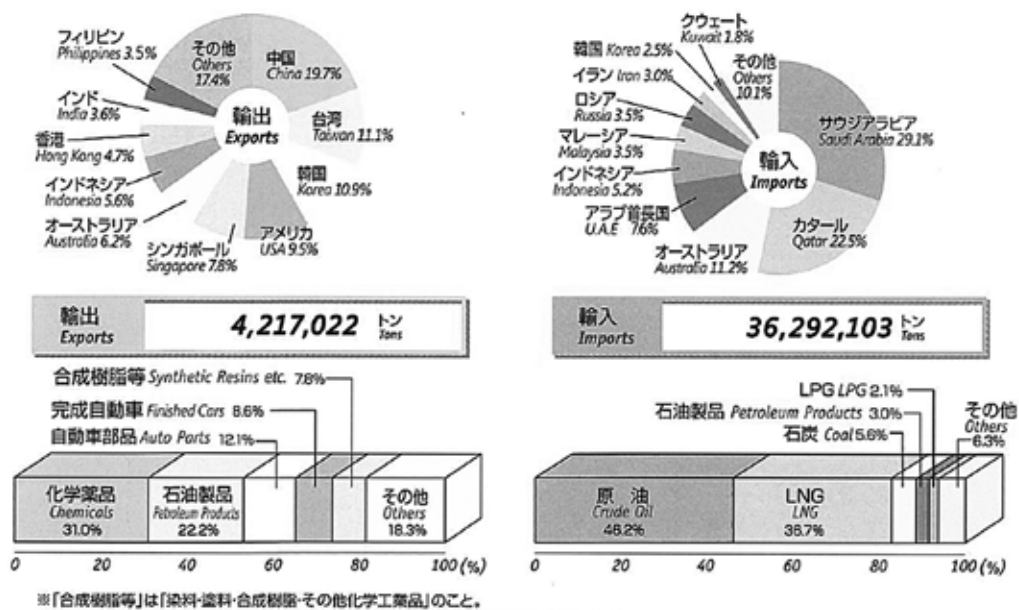
(3) 四日市港の港勢

① 入港船舶数推移（平成19～28年）



※各年の棒グラフは、左から「総トン数」、「外航船」「内航船」の順。

② 外国貿易貨物国別・品種別内訳（平成28年）



2 霞4号幹線（臨港道路）の整備

(1) 概要

四日市港霞ヶ浦南ふ頭から町道川越中央線（臨海橋）を結ぶ、約4.1キロメートルの臨港道路で、計画は片側2車の4車線計画であるが、当面は片側1車の2車線での整備を進めている。



〈緒元〉
 計画区間：霞ヶ浦地区南ふ頭
 ～都市計画道路川越中央線
 全 長：約4.1km
 道路規格：第3種2級相当
 設計速度：50km/hr
 計画交通量：約9,800台/日
 （暫定2車線）
 整備期間：平成16年度～29年度
 （本体部完了）
 総事業費：417億円

(2) 霞4号幹線の役割

① 生活・産業を支える四日市港の発展

増大することが予想される港湾関連交通を円滑に高速交通網に連絡することにより、定時性・即時性が確保され、港湾貨物の輸送コスト削減や、港湾サービス水準の向上が図られる。

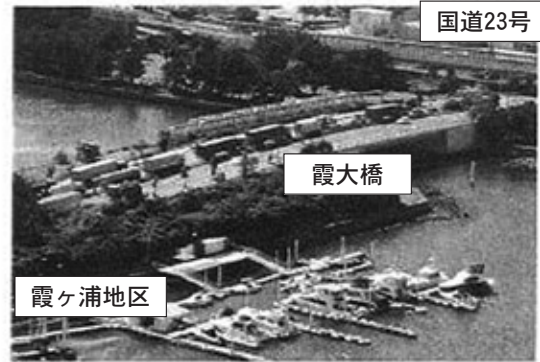
② 周辺道路への負荷の軽減

増大することが予想される港湾関連交通を、周辺道路（国道23号）へ環境負荷をかけることなく背後地へと結ぶ。



霞大橋付近が渋滞

※霞大橋は、現時点で霞ヶ浦地区と国道23号を結ぶ唯一の橋



霞大橋の渋滞状況

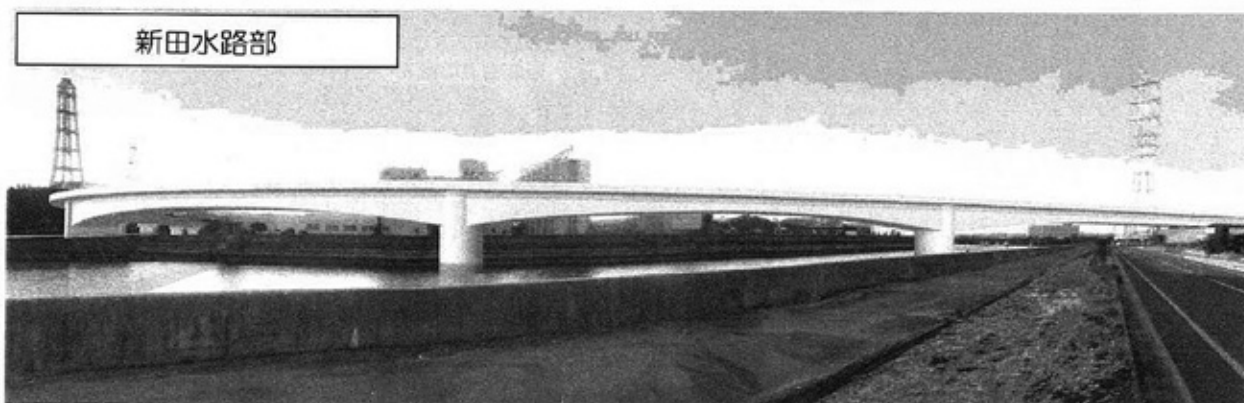
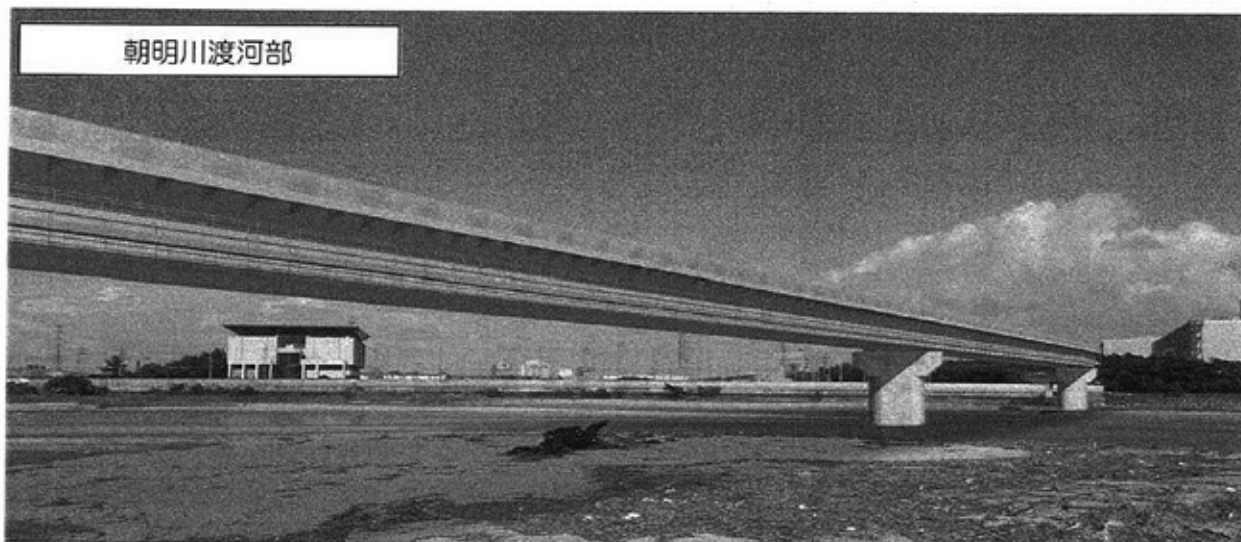
③ 災害時の信頼性確保

霞ヶ浦ふ頭は、霞大橋一本のみで結ばれた出島方式のため、災害時等の緊急物資輸送やふ頭内で働く労働者の安全・安心のためのリダンダンシー（代替機能）を確保する。



霞4号幹線によるリダンダンシー(代替機能)の確保状況

3 霞4号幹線の完成イメージ



【八王子市】

国道20号八王子南バイパスの整備について

1 八王子市内の道路状況

現在の国道20号は、江戸時代から「甲州街道」の通称で呼ばれ、産業や経済の発展に重要な役割を果たしている。ところが、近年では、移動手段を自動車に大きく依存していることや、八王子市中心部を通る東西方向の幹線道路が国道20号、北野街道のみと不足していることなどから、各所で交通混雑や沿道環境への影響が懸念されている。

こうした事態に対処するため、国において、多摩地域の交通環境の改善を目指して国道20号のバイパス整備が進められている。



2 八王子南バイパスの概要

(1) 目的等

八王子南バイパスは、八王子市域を東西につなぐ幹線道路となっており、多摩南部の東西交通の強化及び周辺の混雑緩和、交通事故の減少に伴う安全性の向上を目的に事業が進められている。

また、圏央道高尾山インターチェンジと結ばれることにより、交通ネットワークの拡大や地域の活性化が期待される。



八王子南バイパスができると・・・

交通の円滑化

国道 20 号や北野街道の交通量が減少し、交通の円滑化が図られる。

地域の安全性の向上

幹線道路から生活道路に入り込む車が減るなど、地域の安全性が向上する。

災害時の交通ネットワークの強化

災害時等には緊急車両の通行路として機能するなど交通ネットワークの強化が図られる。
圏央道とも連携し、災害時の広域的な輸送体制が実現する。

※八王子市南部地域の緊急輸送道路は、東西方向では国道 20 号、北野街道のみ

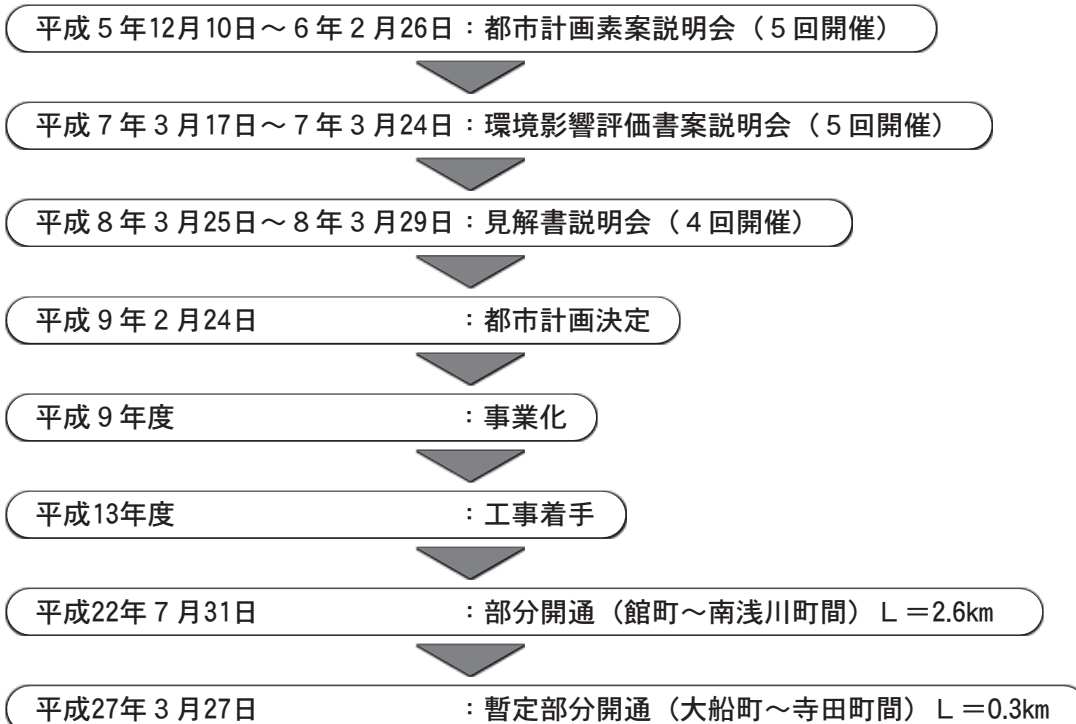
地域の活性化

圏央道との接続により、行動範囲の拡大と移動時間の短縮が図られる。
また、周辺地域との交流が活発になり、地域の活性化に貢献する。

(2) 名称等

- | | |
|------------|------------------------|
| ① 道路名 | 一般国道20号 八王子南バイパス |
| ② 都市計画道路名称 | 八王子都市計画道路3・3・2号東京八王子線 |
| ③ 起終点 | 起点 八王子市長沼町 終点 八王子市南浅川町 |
| ④ 計画幅員 | 22.8m（最小22m，最大51.6m） |
| ⑤ 計画延長 | 約9.6km |
| ⑥ 計画決定日 | 平成9年2月24日 |
| ⑦ 決定番号 | 東京都告示第157号 |

(3) これまでの歩み



(4) トンネル部（八王子南バイパス館第一トンネル）の工事について

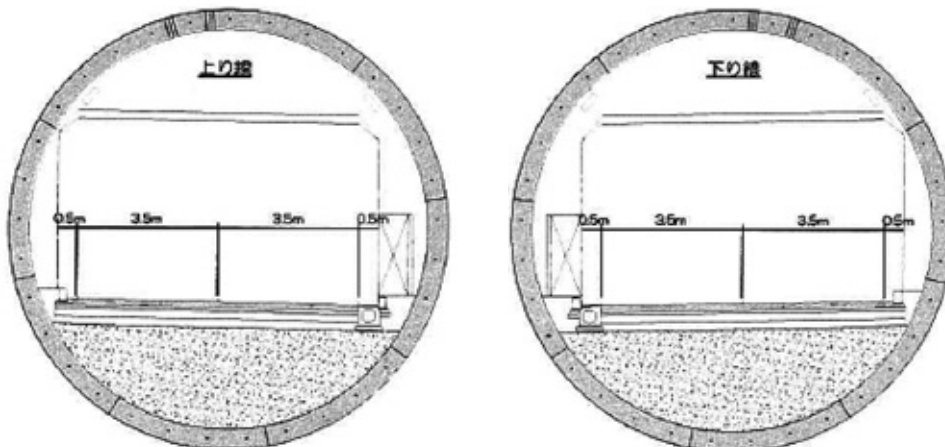
① 概要

- 工事名 八王子南バイパス館第一トンネル工事
- 工事場所 東京都八王子市館町地先
- 発注者 国土交通省関東地方整備局
- 施工者 大林・西武特定建設工事共同企業体
- 工期 平成28年3月15日～31年3月29日
- 請負金額 124億3千80万円（税込）
- 工事内容 工事延長 約450m
 - ・シールドトンネル 外径約11m
 - ・仮設工 1式

位置図



トンネル断面



② シールド工法について

シールドと呼ばれる円形の掘削機を使ってモグラのようにトンネルを掘る工法。

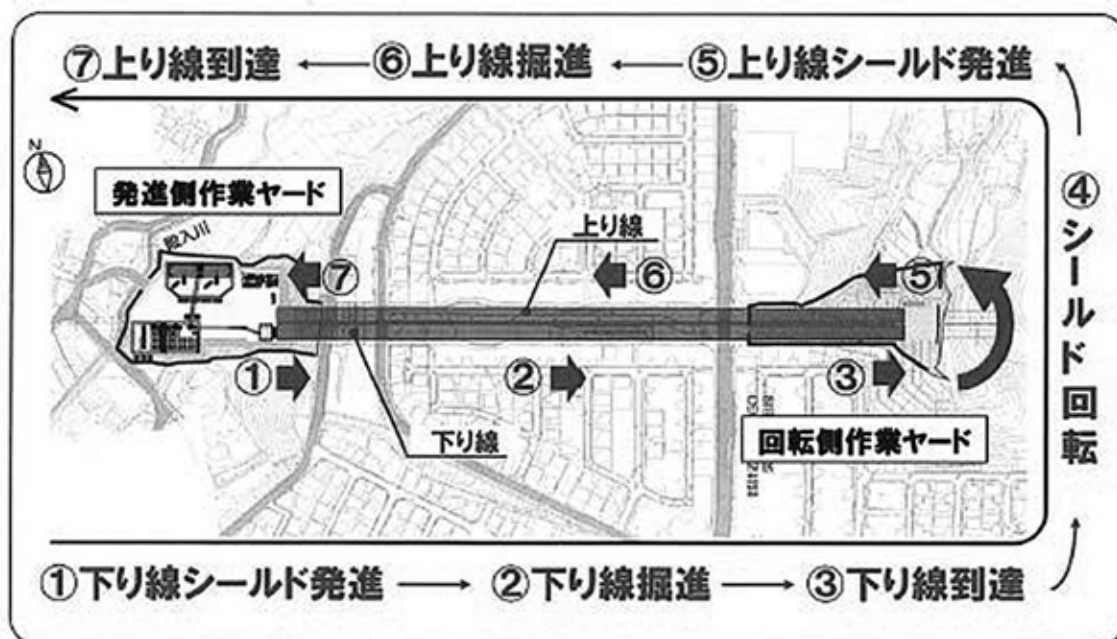
掘削機の前面にあるカッターを回転させながら掘り進み、セグメントと呼ばれるコンクリートブロックをトンネルの壁面の全周に張り付けていくものである。



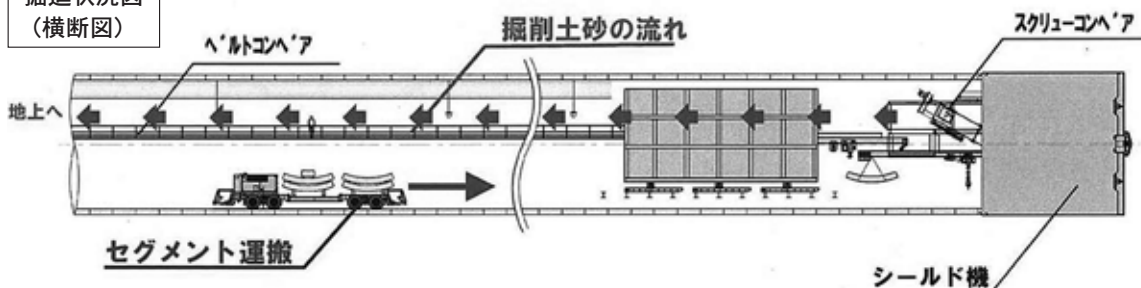
③ シールド掘進の施工手順について

発進側作業ヤードからシールド機を発進し、「掘進」と「セグメント組立」を繰り返して、シールド機を前に進めていく。

施工手順



掘進状況図
(横断図)



3 八王子市の関わり

(1) 市のスタンス

「八王子南バイパスの推進」が現八王子市長の公約であり、市として積極的に協力を図っている。このため、八王子南バイパス整備に当たり、関連町会から出される国への要望に対し、地元自治体である八王子市が協議の間に入り事業推進を図っている。

また、八王子市に直接関連する地元要望のうち、実現可能性のあるものに対しては、調整を図っている。

(2) 地元から八王子市長宛ての八王子南バイパス関連要望等、市の取り組み

- ・平成10年 「八王子南バイパスに関する資料提供の要請及びこれに基づく質問状」
(高尾紅葉台自治会より提出)
- ・平成18年 「地区まちづくりの課題(37項目)について」
(片倉町会 他3町会より提出)
- ・平成26年 「一般国道20号八王子南バイパス第三工区 環境負荷低減対策に関する要望書について」
(館町団地自治会より提出)
「八王子南バイパス道路と市道横山60号の交差する地点の構造に対する回答(14項目の条件)」
(館町殿入地区より提出)

